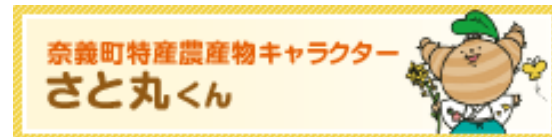


基本情報

- 人口 : 5,427人
- 高齢化率 : 35.9%
- 介護認定率 : 20.0%
- 人口密度 : 80.2人/㎡
(令和7年5月現在)



概要

- 在宅医療・介護連携推進体制について、奈義ファミリークリニックの松下先生をはじめとした医師による地域への関わり合いを基盤とし、医療・介護・福祉・保健・行政が一体となって多職種の連携を構築している。
- 地域住民も当事者意識を持ち、奈義町が「住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる町」となるよう、主体的に地域活動へ参加している。
- 人生会議（ACP）の取組としては、奈義町版エンディングノート『私らしゅう生きるノート』の作成の他、普及啓発動画を作成し、地域住民に対して幅広く人生会議（ACP）の普及啓発を行っている。

体制構築の背景

- 岡山県から地域医療再生計画に基づいた事業の提案を受けたことをきっかけに、平成24年～27年にかけて「地域医療ミーティング」を開催した。
- ミーティングでは医療・介護・福祉・保健・行政・住民等が町全体の医療体制や課題について考え、その結果、地域住民が地域づくりについて自分事として考えるように意識の変化が現れた。
- そうした中で、在宅での看取り、家族に対する自分の最期について考えるようになり、エンディングノートの作成、人生会議（ACP）の普及啓発へ目を向けるようになった。

在宅医療・介護連携

- 県の地域医療再生計画に基づき、平成24年度～27年度に「地域医療ミーティング」を開催し、行政、医療機関のみならず、地域住民も参加し、地域全体で奈義町の医療体制について話し合った。

⇒奈義町版の医療・介護・福祉・保健の連携システムの構築を目指す。

- ミーティングを重ねていく中で、奈義町の現状と課題について、住民が自分事と捉えるように意識が変化していった。
- 月1回実施している地域ケア会議において、町の課題を検討している。地域ケア会議には医師の方をはじめ、様々な専門職（介護支援専門員、薬剤師、生活支援コーディネーター、理学療法士、作業療法士、訪問看護ステーション職員、管理栄養士等）や行政が参加しており、お互いに顔の見える関係を構築している。
- 岡山県の協力のもと、勝田郡医師会・勝央町・奈義町合同プロジェクトにおいて「勝田郡（勝央町・奈義町）在宅療養支援施設マップ」を作成している。
- 地域の医療機関「奈義ファミリークリニック」で週1回の在宅ミーティング及び地域包括支援センター主催で月1回の地域ケア会議を実施している。

⇒医師、看護師、ケアマネジャー等、専門職が集まり情報共有や相談できる会を地域の医療機関が自ら開催し、関係構築が行われており、ACPの普及啓発のみならず、人材育成も行われている。

- 現在では、地域ケア会議や在宅ミーティング、勝田郡医師会による「見える化検討会」など、医療・介護・福祉・行政が一体となり、地域全体で在宅医療・介護連携に取り組んでいる。



平成24年度 地域医療ミーティング



平成25年度 地域医療ミーティング



在宅療養支援施設マップ

人生会議（ACP）の普及啓発

- エンディングノートの作成に至ったきっかけは、平成24年度～27年度に実施した「地域医療ミーティング」。「地域で看取る」をテーマに開催された平成26年の地域医療ミーティングにおいて、地域住民が自分らしい最期を迎えるために必要な「本人や家族の意識の共有」を促すツールとして、エンディングノートの作成を求める声が上がった。
- その後、奈義町版エンディングノート作成委員会を立ち上げ、エンディングノートの作成を進めた。平成27年度に、奈義町版エンディングノート「私らしゅう生きるノート～大切な人に伝えたいこと～」が完成した。
- 完成後は全戸へ配布し、医療機関や薬局にも置いてもらうようにした。また、奈義町のホームページからもダウンロードできるよう、電子媒体での配布も行った。
- 令和3年度には、2回目・3回目と繰り返し記載可能なページを追加する等、ノートを改訂し、時間とともに本人の気持ちの変化や経過が分かるような工夫を行った。
- 令和4年度には、奈義町版エンディングノートの普及を目的として、町内の医療介護関係者や住民が出演した11分ほどのドラマ仕立ての普及啓発動画を作成し、奈義町のYouTubeチャンネル「奈義町公式チャンネル」にて公開した。
- その他、地域サロンなどの機会を活用し、地域住民が「自分らしく生きる」ことのできるよう、積極的に人生会議の普及啓発を行っている。

関連サイト

- [奈義町／「私らしゅう生きるノート」（エンディングノート）について](#)
- [普及啓発動画『私らしゅう生きるノート』
YouTubeチャンネル「奈義町公式チャンネル Nagi Town」](#)



普及啓発動画『私らしゅう生きるノート』



奈義町版エンディングノート

「私らしゅう生きるノート」の
普及啓発動画完成!!



○監督：Shuma Jan (岡山市) ○脚本：劇団オイ・ボッケ・シ主宰 菅原直樹 (久常)
○出演：奈義ファミリークリニック 松下 明医師・マスカット薬局 國富達矢薬剤師・奈義町社会福祉協議会職員 他

亡くなったり、意思を伝えられなくなる前に医療や介護、死後の希望を記すエンディングノート。そのエンディングノートをより多くの方に利用いただき、人生をより豊かにする「きっかけ」づくりをしていただきたいと思います。動画は、YouTubeで配信（「私らしゅう生きるノート」で検索）していますので、是非ともご覧ください。